

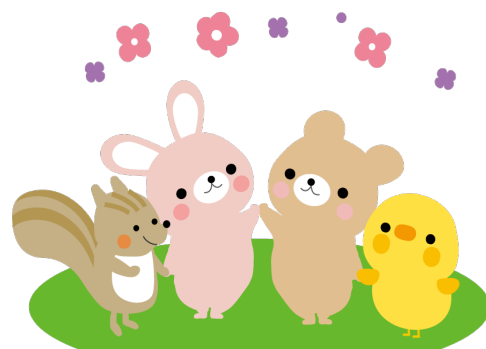
終末期のコミュニケーションスキル研修

積極的治療の限界を迎えた患者さんから「生きていても意味がない」「家族に迷惑をかけている」といった言葉を聞いたとき、みなさんはどのように対応していますか？

励まし、慰め、あるいは共感し、傾聴されているのではないのでしょうか？

今回の研修では、治療の限界や自分の死を意識する患者さんから投げかけられる言葉の意味と共に、援助になり得るコミュニケーションスキル＝援助的コミュニケーションについて学べる機会です。

1. 対象 : 訪問看護ステーション勤務者
2. 日時 : 令和5年3月11日(土) 09:30~12:00
3. 受講料 : 会員5,500円 非会員11,000円
4. 受講方法 : 受講者自身で、ZOOMで受講できる環境を設定
5. 申込方法 : ホームページの研修申し込みフォーム



<https://ws.formzu.net/dist/S99502054/>

または、右記バーコードから



7. プログラム

時間	講義名	内容	講師
9:30~ 12:00	終末期の コミュニケーションスキル	終末期にある患者さんから投げかけられる言葉の意味と援助になり得るコミュニケーションスキルとは、何をどのようにすることか？について学ぶ。	鹿児島大学大学院 医歯学総合研究所腫瘍学講座 消化器・乳腺甲状腺外科学 医師 的場康徳



一般社団法人
東京都訪問看護ステーション協会

〒160-0023 新宿区西新宿四丁目2番19号

☎03-5843-5930 fax03-5843-5932

Mail info@tokyohoukan-st.jp